

令和7年度 自己点検・自己評価・学校間評価

※評価指標 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

I 教育理念・目標

評価項目	評価
1. 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特徴が明確になっているか)	4
2. 学校における職業教育の特色は何か	4
3. 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4. 学校の理念・目的・人材育成像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4
5. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向け て方向づけられているか	4

II 学校運営

評価項目	評価
1. 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2. 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
3. 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に 機能しているか	4
4. 人事・給与に関する制度は整備されているか	4
5. 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6. 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7. 教育活動等に関する情報公開が適正にされているか	4
8. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

III 教育活動

評価項目	評価
1. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2. 教育理念、人材育成像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応し た教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4. キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法 の工夫・開発などが実施されているか	4

5. 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
7. 授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8. 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9. 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10. 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11. 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12. 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13. 関係分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14. 職員的能力開発のための研修等が行われているか	4
15. 教員の研究活動を保障(時間的・財政的・環境的)しているか	4
16. 教員の研究活動を助言・検討する体制を整えているか	4

IV 学修成果

評価項目	評価
1. 就職率の向上が図られているか	4
2. 資格取得率の向上が図られているか	4
3. 退学率の低減が図られているか	4
4. 卒業生・在校生の社会的な活躍および評価を把握しているか	3
5. 卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用されているか	3

V 学生支援

評価項目	評価
1. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2. 学生相談に関する体制は整備されているか	3

3. 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5. 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6. 学生の生活環境の支援は行われているか	4
7. 保護者と適切に連携しているか	4
8. 卒業生への支援体制はあるか	4
9. 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
10. 高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか	3

VI 教育環境

評価項目	評価
1. 施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3. 防災に対する体制は整備されているか	4

VII 学生の受け入れ募集

評価項目	評価
1. 学生募集活動は、適正に行われているか	3
2. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
3. 学納金は妥当なものとなっているか	4

VIII 財務

評価項目	評価
1. 中長期的に学校の財政基盤は安定しているといえるか	3
2. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3. 財政について会計監査が適正に行われているか	4

4. 財務情報公開の体制整備はできているか	4
-----------------------	---

IX 法令等の遵守

評価項目	評価
1. 法令・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3. 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4. 自己評価結果を公開しているか	4
5. 学生や保護者が自由に意見を言える体制が整備されているか	4

X 社会貢献・地域貢献

評価項目	評価
1. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	4

XI 国際交流

項目	評価
1. 留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか	2
2. 留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	2
3. 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	2
4. 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	2

○学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

1. 高い倫理観と豊かな人間性の醸成

1) 学生のコミュニケーション能力向上を目指した関わり

- ・専任教員の講義ではペアワーク、グループワーク、シミュレーション等を取り入れた授業形態を多く用い、学生が他者の話を聞き、自身の考えを表出できるようにした。
- ・課外活動では今年度より学校祭を6年ぶりに復活させ、1～2年生を中心に準備、運営を行い、学年の垣根を越えた活動を行った。また、今年度より手話講座を実施し、多様なコミュニケーションのあり方を学習する機会を設けた。

- 2) 倫理的視点を重視した教育的関わり
 - ・1年次より、倫理学の講義、また専門分野の講義・演習・実習を通し、倫理観の醸成を行っている。
 - ・実習経験を重ねた2～3年生は、看護職者として倫理的にどのような行いをすべきかが明確になり、倫理観は育成されている。
 - ※18歳での入学者が多いため、一部、利己的な振る舞いをする学生がいる。自分の振る舞いが他者に対しどのような影響を与えるのか、学内学習でいかに想像できるようになるかが課題である。
 - 3) 学生の協働する力の強化
 - ・1年生は基礎看護技術の修得に向けチューター制を取り入れグループ内での協働学習を主体的に行っていた。
 - ・2～3年生は実習グループにおいて、円滑に実習を行うために日々協働していた。問題発生時は、教員に助言を求める姿もあった。
 - ・2年生は、宣誓式や学生フォーラム、実習を通し、仲間と協働し達成する力が強化された。
 - ・3年生は国家試験前には自主的な学習グループを作り、知識を教授し合う姿があった。
2. 看護実践能力を育成するための教育力の向上
 - 1) 研究授業実施率 100%
 - ・今年度は8名中7名が全研究授業を実施し、実施率は87.5%であった。研究授業計画は教員会議で検討し、研究授業実施後には検討会を行った。
 - 2) 教員能力開発プログラムによるラダーレベル全員取得
 - ・国立病院機構の教員の教員能力開発プログラムにより、各教員の経験年数、能力に応じたラダーレベル取得を目指している。
 - ※しかし、日々の業務が優先になり、タイムリーに取り組めていない。
 3. 教育体制の充実
 - 1) カリキュラム評価 全体平均 3.5 以上
 - ・令和7年度卒業生のカリキュラム満足度評価は平均3.8であり、昨年より0.4ポイント上昇した。授業、実習内容、技術習得、サポート体制全てにおいて高評価を得られた。
 - ・1年生のカリキュラム満足度評価は平均3.6
最低値は「わかりやすい授業が多い」2.8である。外部講師や講義資料が無い授業、ポイントが明確に示されていない授業に対する評価が低い傾向にある。
 - ・2年生のカリキュラム満足度評価は平均3.8
最低値は「実習の教育内容に満足している」が3.6である。教員による指導の違いに対する意見が散見される。
 - ※専任教員の授業は、授業案の検討、研究授業の実施等で意見交換を行い、授業力向上に努めているため引き続きわかりやすい授業の実施ができるよう研鑽を行う。
また学生の学習姿勢の醸成、指導も引き続き行う。
 - 2) 臨地実習指導要領の作成
 - ・今年度は各領域担当者が実習指導要領の作成を行った。年度末までには、全て作成できる予定。
 - 3) 教員間のチームワークの促進
 - ・1年目～2年目教員は全授業に対し指導教員から助言を行った。また初めての業務についてもフォローアップ体制を構築し、一緒に取り組んだ。
 4. 健全な学校運営
 - 1) 応募者数前年比増
 - 2) 入学者充足率 100%
 - 3) 国家試験合格率 100%
 - 4) 卒業率前年比増

5) NHO 就職率 80%以上、県内就職率 90%以上

- ・応募者数、入学者充足率が前年度より大幅に減少する見込み。